

算数科学習指導案

指導者 篠崎 祥太

1 日時	平成30年10月12日(金) 第5校時
2 場所	尾道市立御調中央小学校 知的障害特別支援学級(たんぼぼ学級)
3 学年	第1学年 男子1名(A児) 第4学年 男子1名(B児) 第5学年 男子2名(C児・D児)
4 単元名	第1学年 「かいものごっこ」 第4学年 「かけ算の筆算」 第5学年 「がい数」

単元観

本単元は、特別支援学校学習指導要領第1段階Bア「ものの有無や3までの数的要素に気付き、身の回りのものの数に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。」、小学校学習指導要領第3学年A(3)「乗法に関わる数学的活動を通して、知識及び技能、また、思考力、判断力、表現力等を身に付けること。」及び第4学年A(2)「概数に関わる数学的活動を通して、知識及び技能、また、思考力、判断力、表現力等を身に付けること。」の内容を受けて設定されている。

本単元は、自立活動の「買い物に行こう」「お菓子作りパーティをしよう」と横断的に実施する。実際の買い物に向けて、「お店屋さんごっこ」をしていくことを全体のめあてとし、第1学年児童は、お店屋さん役として商品を作成するために、見本を見ながら数を数えて袋に詰めることで数唱の技能や1対1対応の技能や感覚を身に付けていく。第4学年児童は、お店屋さん役として、商品に値札を付ける活動を通して、同数累加の場面ではかけ算を使うということの理解を深めていく。第5学年児童は、お客さんとして予算を越えないように買い物をする時の概算の方法を考える。このような活動を通して、自分たちの学習が実生活場面とつながっており、学習したことが役に立つという感覚を育てていく。

児童観

児童	児童の実態	教科に関する実態
第1学年 A児	<ul style="list-style-type: none">・知的な能力は3歳半程度と診断されている。日常的な語彙は持っており、コミュニケーションへの意欲も高いが、複雑な指示は理解できない。手指が不器用であるかなぞり書きはある程度できる。発音に困難さがある。・「青」と「赤」の色の名前を覚えるのに非常に困難さがある。そのため、具体的なものでない「数詞」を覚えるのも時間がかかると予想される。・苦手意識があることには「つかれた」と言って手が動かなくなる。	<ul style="list-style-type: none">・大きい、小さい、多い、少ない、長い、短い、重い、軽いなど量を表すことばはよく理解しており、使うこともできる。・数唱は3までできるが、ものと指さしが一致していない場合もあり、3つの物を見ても「3」とは答えられない。「1」、「2」は理解している。数を言葉に出すことについては自信がないため、指で表したがることが多い。

<p>第4学年 B児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいと感じても、学習を投げ出さず、頑張りとうとする。やり方が分からず止まってしまうことはある。 ・ワーキングメモリーを使うことに困難さがあり、漢字や九九などを正確に覚えるのに時間がかかる。昨年度、自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍しており、今年度は軽重をつけながら、下学年のカリキュラムをもう一度やっている。 ・穏やかな性格で友達に譲ることができる反面、自分の気持ちを主張できないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(十いくつ) - (1けた) という1年生の繰り下がりの引き算が定着しておらず、指を使ったり、数えて引いたりして答えを出している。暗算で解くこともあるが、答えが不正確になってしまう。 ・かけ算九九は、ほぼ定着しているが、完ぺきではなく、7の段など得意な段は、$7 \times 1 = 7$, $7 \times 2 = 14$…と順番に唱えて解いている。 ・昨年度やっているのに、かけ算の筆算もある程度はできるが、時間がかかる。 ・かけ算・わり算をどのような場面で使うことができるのかという理解が曖昧である。
<p>第5学年 C児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集中が長く続かないので、ぼうっとして作業が止まることがある。一回に写せる量が少ないため、板書をノートに写すのに時間がかかる。視写よりも聴写が得意である。 ・言われたことを一生懸命頑張りるので、体育なども全力で取り組む。しかし、暑さや疲れに対して、耐性が低く、体育の後等は疲れてぐったりしてしまう。その場合、姿勢が崩れて、思考力も極端に低下する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順を理解すれば、その手順通りにやっていける。そのため、計算問題は得意である。しかし、文章問題を読んで立式するのは不得意である。どのような場面で、どの計算方法を使うかの理解が浅いものにとどまっている。 ・昨年度発展問題として概数を学習しており、既に概数に関しては、ある程度の理解がある。四捨五入の方法は理解している。上から〇けたまで、〇の位をなどの意味も理解している。概数のよさについて、実感が乏しい。 ・書くのが遅く、問題を解くスピードはゆっくりである。
<p>第5学年 D児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気分によって、学習に取り組む態度に差がある。 ・C児へ、ライバル意識があり、自分だけ間違っていたり、問題を解く速度で負けたりすると、腹を立ててしまう。 ・漢字・計算は得意で記憶力もわりあい高い。学習面よりも人間関係やルールを守る等の部分で課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題は得意で、文章問題を読んで立式するのは不得意である。苦手意識もあり、「分からん」と言って手が止まってしまうことがある。 ・昨年度発展問題として概数を学習しており、既に概数に関しては、ある程度の理解がある。自信ももっている。四捨五入の方法は理解している。上から〇けたまで、〇の位をなどの意味も理解している。概数のよさについて、実感が乏しい。

指導観

本単元では、「論理的に考え、表現する」力と「やりぬく」力を育成していく。また、本時では特に、第1学年では「やりぬく」力を、第4学年、第5学年では「論理的に考え、表現する」力を育成する。それを踏まえて、次のような指導の工夫をしていく。

〈第1学年 A児〉

1 児童の教科の実態を受けての指導の工夫	
単元における工夫	本時の工夫
<ul style="list-style-type: none"> • 野菜、飴、コップに入った飲み物等の食べ物や、動物の絵、形など、色々なものを数える活動をする中で、大きいものも、小さいものも同じように数えていけることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 完成品の実物を見本とし、イメージができるようにする。 • 実際に一緒にやりながら、作業の手順の確認をする。
2 児童の実態を受けての目標と手立て	
目標	手立て
<ul style="list-style-type: none"> • 手や頭を働かせ、楽しみながら活動をやり切ることができる。 • 自分の考えていることを言葉にして、友達に伝えることができる。 <p>【②-3 人間関係の形成】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お店屋さんごっこを最終的にやるという見通しがもてるように視覚支援をする。 • 分からない時は、本時では、4年生を頼ることを確認する。

〈第4学年 B児〉

1 児童の教科の実態を受けての指導の工夫	
単元における工夫	本時の工夫
<ul style="list-style-type: none"> • 「同じ数を何回も足す時」や「ずつ」というキーワードでかけ算を使う場面を整理させる。 • 乗数・被乗数の意味も確認しながら、立式の理由を説明する活動を何度も繰り返し行い、かけ算の意味を言葉で表現する中で理解を深める。 • 半具体物を何度も操作し、筆算とつなげて理解させることで、筆算の手順で答えが求められる意味を実感させる。 • どの九九も即、答えが思い浮かぶように練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 既習事項の掲示を見ることで、数が2けたになっても、同数累加の場面であることに気付かせ、掲示物のキーワードを使って、発表できるようにする。 • 1年生の商品づくりがうまくいっているかチェックする役割を与えることで、意欲を高める。 • レジや帽子など小道具で臨場感を高める。
2 児童の実態を受けての目標と手立て	
目標	手立て
<ul style="list-style-type: none"> • 1年生の商品づくりがうまくいかない時に、優しい言葉かけをして、修正をすることができる。 <p>【②-6 コミュニケーション】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 商品づくりの手引きを渡しておき、それを見ながら指示ができるようにする。 • 「ちょっと、～がちがうね。」「～したらいいんだよ。」など、言葉かけの例を伝える。

〈第5学年 C児〉

1 児童の教科の実態を受けての指導の工夫	
単元における工夫	本時の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・四捨五入の手順など覚えなければいけないポイントはキーワードを用いて確認し、単元を通して、手順の説明を繰り返すことで、理解を深める。 ・新聞・テレビなど、概数が使われる場面を日常生活の中で見付けたり、概数のよさをことばに表したり活動を多く設定する。自分たちも概数を使っていこうという意欲を高める。 ・学習リーダーが集団解決場面で学習を進めていくようにすることで、主体性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リボン図を動かすことで、視覚的・体験的に予算と代金の関係を理解させる。 ・ヒントカードに段階を設けて、自己選択の場を与える、また、なるべく自分の力で解いていこうという意欲を高める。 ・用語について確認したり、図を使って予算と代金の関係を確認したりすることで、見通しをもって自力解決に移れるようにする。
2 児童の実態を受けての目標と手立て	
目標	手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・集中を切らさずに、自力解決の学習に取り組む。【②-2 心理的な安定】 	<ul style="list-style-type: none"> ・リボン図の操作等で、はっきりとした見通しをもたせてから、自力解決の学習に入る。

〈第5学年 D児〉

1 児童の教科の実態を受けての指導の工夫	
単元における工夫	本時の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・テレビなど、概数が使われる場面を日常生活の中で見付けたり、概数のよさをことばに表したりする活動を多く設定する。自分たちも概数を使っていこうという意欲を高める。 ・学習リーダーが集団解決場面で学習を進めていくようにすることで、主体性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは、(四捨五入、切り上げ、切り捨て)を使って、概数に直して、代金を計算しました。わけは、(四捨五入、切り上げ、切り捨て)して概算すると、実際の代金より(大きくなる・小さくなる)ので、予算を越えなければ足りるからです。」という話型を与えて考えさせる。 ・ヒントカードに段階を設けて、自己選択の場を与える、また、なるべく自分の力で解いていこうという意欲を高める。
2 児童の実態を受けての目標と手立て	
目標	手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・友達が問題の解き方で悩んでいたら優しく説明することができる。【②-6 コミュニケーション】 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が間違えていたり、悩んでいたりしたら、どんな言葉かけをしたらよいか、具体的に教える。道徳の時間等で言葉かけについて学習した内容をカードにまとめ、渡せるようにしておく。

5 第1学年 単元の目標

- 5までの範囲で数唱をする。 【Bア(ア)㊦】
- 3までの範囲で具体物を取る。 【Bア(ア)㊦】
- 対応させて物を配る。 【Bア(ア)㊦】
- 形や色，位置が変わっても，数は変わらないことについて気づく。 【Bア(ア)㊦】
- 数詞ともものとの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付き，それらを学習や生活で生かす。 【Bア(イ)㊦】

第4学年 単元の目標

- 2位数や3位数に1椅子をかける乗法の計算の仕方を考え，それらの計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解する。また，その筆算の仕方について理解する。 【A(3)ア(ア)】
- 乗法の計算が確実にできる。どの九九も即答えが思い浮かぶ。 【A(3)ア(イ)】
- 簡単な計算は暗算でできるよう配慮する。 【3(2)】

第5学年 単元の目標

- 概数が用いられる場合について知る。 【A(2)ア(ア)】
- 四捨五入について知る。 【A(2)ア(イ)】
- 目的に応じて四則計算の結果の見積もりをすることができる。 【A(2)ア(ウ)】
- 日常の事象における場面に着目し，目的に合った数の処理の仕方を考えている。 【A(2)イ(ア)】
- 暗算でできる範囲の概算を使い，日常生活に生かそうとしている。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現等	学びに向かう力・人間性等
第1学年	手本を見たり，口頭の指示を聞いたりして，3までの数の具体物を取ることができる。また，5までの数唱ができる。	数詞ともものとの関係に注目し，数のまとまりや数え方に気付いている。	ものを数えたり，具体物を取ったり配ったりすることに意欲をもって取り組もうとしている。
第4学年	乗法の計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにできることなどを理解し，乗法九九と関連させながら(2, 3位数)×(1位数)の筆算の仕方を理解している。また，(2, 3位数)×(1位数)の計算が筆算で確実にできる。	既習の乗法や計算のきまりを活用して，(2, 3位数)×(1位数)の計算の仕方を，具体物や，図，式を用いて表現して考えている。	2位数や3位数に1位数をかける計算の仕方を考えたり，この考えを活用する良さに気付いている。
第5学年	目的や場面に応じた概算の仕方を理解し，四捨五入，切り捨て，切り上げを選んで概数を求めて，概算することができる。	具体的な場面に応じて，概数にしたり概算をしたりする必要があるかを判断し，場面に応じてどの程度の概数にするか，概算の仕方をどうするか考えている。	概数や概算を用いる良さを感じ，日常生活から見付けたり，実際に用いたりしようとしている。

7 第1学年 指導と評価の計画（全9時間 本時 5/9）

単元前	<p>【自立活動】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お菓子パーティをしよう。メニュー、材料を選び、作るときの役割分担をする。 （A児）お菓子作りに必要な材料の名前を知り、正しく発音する。自分の役割を知る。 ●買い物に行こう。「Aコープ」に買い物に行く。 （A児）お金を出して、商品、お釣り、レシートを受け取ることが分かる。 					
小単元	学習内容	評価の観点				
		知	思	学	評価規準	評価方法
1 買い物 その1	<p>【課題の発見（1時間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●具体物や絵カードを見ながら、机に並べた品物の中から、同じものを選び、取る。 ●とった商品を数える。 	◎			<ul style="list-style-type: none"> ●具体物や絵カードと、同じものを選んでいく。 ●正確に数えている。 	発言 行動観察
	<p>【整理・分析（1時間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●品物を選んだ後、持っているお金と交換して、品物を手に入れる。 ●手に入れた商品を数える。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ●商品をお金と交換することで、ものが手に入ることが分かる。 ●正確に数えている。 	発言 行動観察
お 店 屋 さ ん に な る こ う	<p>【実行（1時間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見本の商品と同じ数だけ袋にものをいれて商品を作る。 ●お店屋さん役でごっこ遊びをする。（本時） 	◎			<ul style="list-style-type: none"> ●見本と同じように、ものを数えて商品を作ることができる。 	発言 行動観察
2 買い物 その2	<p>【整理・分析（1時間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●何を買ってくるのか買い物の計画を立てる。 ●スーパーの写真で、売り場が分かれており、どのあたりに、飼いたいものがあるか確認する。 			◎	<ul style="list-style-type: none"> ●買いたいものを考えている。 	発言 行動観察
	<p>【整理・分析（1時間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●品物の絵カードと同じものを店から探す。 ●お金を払って、商品、レシート、お釣りを受け取る。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ●お金を払って、商品、レシート、お釣りを受け取ることができる。 	発言 行動観察
単元後	<p>【自立活動】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物に行こう2⇒「Aコープ」に買い物に行く。 （A児）お金を出して、商品、お釣り、レシートを受け取ることが分かる。 ●お菓子パーティをしよう。手順を見ながら協力してお菓子を作り、一緒に食べる。 （A児）手順表を見ながら自分の役割を果たすことができる。 					

<p>単元前</p>	<p>【自立活動】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お菓子パーティをしよう。メニュー、材料を選び、作るときの役割分担をする。 (B児) お菓子作りの流れを知り、でき上がりをイメージして、買いたいものを提案することができる。 ●買い物に行こう。「Aコープ」に買い物に行く。 (B児) スーパーで品物を購入する手順が分かる。レシートの意味が分かる。 					
<p>小単元</p>	<p>学習内容</p>	<p>評価の観点</p>				
<p>1 何十、何百のかけ算(1)</p>	<p>【課題の発見(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●どんなときにかけ算を使うのか考える。わり算との違いを見付ける。 ●40×3の計算の仕方を考える。 ●10の12 (4×3) 個分という考え方でまとめる。 ●200×6の計算の仕方を考える。 ●100の12 (2×6) 個分という考え方でまとめる。 	<p>知</p>	<p>思</p>	<p>学</p>	<p>◎</p> <p>●10や100のまとまりに着目して、答えを求めることができる。</p>	<p>評価規準</p> <p>◎</p> <p>ノート 発言</p>
<p>2 (2けた)</p>	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●21×3の計算の仕方を考える。 ●いくつかの計算方法から、「いつでも使える」、「簡単である」などの視点で検討する。 ●位ごとに分けてかける方法と結びつけながら、筆算の仕方を知り、ノートにまとめる。 	<p>知</p>	<p>思</p>	<p>学</p>	<p>◎</p> <p>●既習事項を活用して、21×3の計算の仕方を具体物や図、式を用いて表現して考えている。</p>	<p>◎</p> <p>ノート 発言</p>
<p>× (1けた) の計算</p>	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●繰り上がりのある筆算の仕方を考える。 ●繰り上がった数をどのように処理すればよいか考える。 ●繰り上がりのある筆算形式についてまとめる。 	<p>知</p>	<p>思</p>	<p>学</p>	<p>○ ◎</p> <p>●筆算のよさに気づき、進んで用いようとしている。</p>	<p>○ ◎</p> <p>ノート 発言</p>
<p>(3)</p>	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●46×7の筆算の仕方を考える。 ●繰り上がった数をどのように処理すればよいか考え、まとめる。 	<p>知</p>	<p>思</p>	<p>学</p>	<p>◎</p> <p>●部分積同士の和でも繰り上がる(2位数) × (1位数)の筆算ができる。</p>	<p>◎</p> <p>ノート 発言</p>

買い物ごっこ(1)	<p>【実行(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同じものがいくつか袋に入って、1つの商品になることを確認する。 ●商品全体の値段を求めるとはどんな式になるかを考える。(本時) 	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●かけ算の筆算が正確にできる。 ●累加の場面とかけ算を結び付けて考えている。 	ノート 発言 行動観察
単元後	<p>【自立活動】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物に行こう2⇒「Aコープ」に買い物に行く。 (B児)レシートを見て、電卓で計算し直して、正しく出ているか、確かめることができる。 ●お菓子パーティをしよう。手順を見ながら協力してお菓子を作り、一緒に食べる。 (B児)1年生に手順を教えるなど、協力して作業をすることができる。 				

第5学年 指導と評価の計画 (全12時間 本時 9/12)

単元前	<p>【自立活動】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お菓子パーティをしよう。メニュー、材料を選び、作るときの役割分担をする。 (C児)話し合いの司会などのリーダー役を手順に沿って、勤めることができる。 (D児)友達の作りたいものを認めて、調整することができる。 ●買い物に行こう。「Aコープ」に買い物に行く。(お金が足りない失敗経験もさせる。) (C児)計画的に品物を選ぶ必要があることが分かる。 (D児)予算と、品物の値段を考えながら、買うものを選ぶ必要があることが分かる。 					
小単元	学習内容	評価の観点				
		知	思	学	評価規準	評価方法
1	<p>【課題の発見(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●およその数の必要な場面が分かり、その表し方について考える。 ●0~9のカードを使って500に近い数を作ることができる。 		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りにある数に対して、およその数の必要性を考えようとしている。 	ノート 発言
四捨五入(3)	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒数を概数で表す方法を千の位に着目して考える。 ●四捨五入の仕方、以上・以下、未満の用語を知る。 ●四捨五入してあるくらいまでの概数を求める。 ●四捨五入する位によって表される概数が異なることを知る。 ●四捨五入して2000になる整数を調べ、どんな範囲の数を表しているか、数直線を用いて見つける。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ●四捨五入の仕方を理解している。 ●四捨五入によって、1つの概数になる範囲の数を考えている。 	ノート 発言
	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「上から1けた、2けた」の概数で表す方法を理解する。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ●四捨五入の仕方を理解している。 	ノート 発言

2 切り捨て切り上げ(1)	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●束にできる枚数を表す場合、切り捨てて概数にすることを知る。 ●何人分の車両を用意するかを考える場合は、切り上げて概数にすることを知る。 ●身の回りで、切り捨てや切り上げを使う場面を探し発表し合う。 ●リボン図を使って説明をする。 			◎	<ul style="list-style-type: none"> ●切り捨て、切り上げの意味が分かり用いられる場面を考えようとしている。 	ノート 発言
3 がい算(3)	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動物園の入園者数のおよその数の求め方を考える。 ●加法・減法の概算の仕方を理解する。 ●概算を用いて、問題を解く。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ●概数にしてから計算する良さを考えている。 	ノート 発言
	<p>【整理・分析(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上から1けたの概数にした積の見積もりの仕方を知る。 ●電卓を使って計算し、見積もりと比べる。 ●上から1けたの概数にした商の見積もりの仕方を知る。 ●電卓を使って計算し、見積もりと比べる。 		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ●見積もりを用いると便利な日常場面に目を向けてようとしている。 	ノート 発言
	<p>【表現(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物に行くことを想定し、予算内で買い物をする時の概算の仕方を考える。 ●買い物ごっこを実際にやって、切り上げのよさを確かめる。(本時) 		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ●どうして、切り上げて概算するとよいのかを考えている。 	ワークシート 発言 行動観察
し (1) 練習・力試	<p>【まとめ(1時間)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既習事項の理解を深める。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ●既習事項を使いながら問題を解くことができる。 	ノート
単元後	<p>【自立活動】2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●買い物に行こう2⇒Aコープに買い物に行く。 (C児) 買うものをかごに入れながら概算し、予算が足りるか確かめることができる。 (D児) 買うものをかごに入れながら概算し、2人で協力しながら予算が足りるか確かめることができる。 ●お菓子パーティをしよう。手順を見ながら協力してお菓子を作り、一緒に食べる。 (C児) 手順表を見ながら自分の役割を果たす。自分たちだけでなく下学年の作業も気に掛けて声をかけることができる。 (D児) 手順表を見ながら自分の役割を果たす。下学年に優しい声掛けをすることができる。 					

本時の学習

(1) 本時の目標

第1学年

○ものの数を正確に数えて商品を作ることができる。

第4学年

○同数累加の場面とかけ算を結び付けて考え説明ができる。かけ算の筆算が正確にできる。

第5学年

○予算内で買い物をする時に、切り上げを使うよさが分かる。切り上げを使って概算する理由を考え、説明ができる。

(2) 本時でつきたい力（資質・能力）

第1学年

○やり抜く力

ものの数を正確に数えて商品を作る活動に、4年生と協力して一生懸命取り組むことができる。

第4学年

○論理的に考え、表現する力

既習掲示を参考にしながら、同数累加の場面ではかけ算を使うという立式の根拠を説明できる。

第5学年

○論理的に考え、表現する力

ヒントカードや話型をもとにして、切り上げを使って概算する理由を図・式・言葉を用いながら説明することができる。

個々の目標

第1学年 A児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確に数を数えて商品を作ることができる。 ・ 4年生と協力して、なるべく先生を呼ばず、ものの数を数えて商品を作る活動に取り組むことができる。
第4学年 B児	<ul style="list-style-type: none"> ・ かけ算の立式の根拠を説明できる。また、正確にかけ算の筆算をして、値札を付けることができる。 ・ 1年生の手順表をもとに、1年生の商品のチェックをしながら、自分の学習を進めることができる。高学年としての自信をもつ。
第5学年 C児	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒントカードや話型をもとにして、切り上げを使って概算する理由を説明することができる。 ・ ヒントカードの難易度を自分で選択することができる。
第5学年 D児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切り上げを使って概算する理由を図・式・言葉を用いながら説明することができる。 ・ 相手意識をもって、自分の考えを説明することができる。

(3) 準備物

第1学年

見本の商品、袋、袋の中に入れるカード、モール、お店屋さんの帽子

第4学年

既習掲示、値札、1年生の手順表、お店屋さんの帽子、レジ

第5学年

既習掲示、ヒントカード、ワークシート、組み合わせのカード、計算機

(4) 板書計画

1年

おみせやさんになろう

みほんをみて かずをかぞえて ふくろにいれよう
できたら つくえに ならべよう

4年

問 商ひんのねだんをもとめて、ねふだをつけよう。

め 1ふくろのねだんを計算でもとめよう。

$45 + 45 + 45 = 45 \times 3$

式 $45 \times 3 = 135$

答え 135円

③ 同じ数を何回か足すときは、かけ算を使う。

5年

問 1 4人でお菓子作りパーティーをするのに、必要な材料を買いに行きます。1200円お金を持っています。お金が足りなくならないように、買うものを決めましょう。なるべく多く買います。

め 持っているお金が足りるか、考えよう。

代金(950円) 予算(1200円) 足りる!	代金(1200円) 予算(1200円) 足りる!	代金(1250円) 予算(1200円) 足りない!
-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

概数に直して、簡単に計算…概算

①切り上げ ②切り捨て ③四捨五入

問 2 500円持って、買い物に行きます。お金が足りなくならないように、3種類の品物を買います。どんな組み合わせがあるでしょう。

のり 166円	はさみ 286円	定規 132円	ボールペン 178円	マジック 84円	ホッチキス 195円
------------	-------------	------------	---------------	-------------	---------------

買うもの のり と ホッチキス と マジック

<考え方> $166 + 195 + 84 = 500$

本当の代金 切り上げてから足すと、本当の代金
切り上げた代金(500円) より少なくなるから、必ず足りる。

③ 値段を切り上げて、足していく。概算した代金が予算を越えないなら、必ず足りる。

